

大淀町農業委員会委員の推薦及び応募の状況

推薦の状況

(届出順)

番号	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦をする者)				認定農業者等に該当	利害関係を有しない
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者等の区分	推薦を受ける理由	農業委員となった場合に 取り組もうとする事項	氏名又は名称	構成員数		
1	池田 政則	農業	77	男	平成29年～令和6年 中増区長 令和3年～令和6年 大淀町区長会会長	耕作面積 30 アール 生産作物 露地野菜	非該当	中増区並びに陽原生産組合より推薦を賜り、これまでの経験と知識を基に、地域農政振興に努力したい。	農業者の代表として農地利用のあり方等、関係機関とも充分協議を行い、微力乍ら、問題解決に向けていきたい。	中増区長 花木幸治	300人	中増区内の農地等に精通しており、農業従事者から信頼されている。	無	
2	樋口 進也	会社役員	52	男	令和2年7月6日 office Susumunari(株)設立 代表取締役役に就任 令和4年4月1日 NALAHA(株) 相談役兼非常勤役員に就任	耕地面積 20 アール 生産作物 水稲、露地野菜 (人参、ニンニク、ネギ)	該当	越部区及び大淀町内の耕作放棄地の改善と河川の回復に努め、越部谷に以前のような活気を取り戻せるよう、尽力を継続する為。	農業従事者の高齢化に対し、サポート体制を構築し、離農者に伴う担い手不足を解消する取り組みを行う。 大淀町の独自性を出した6次元化のプロジェクトを立ち上げ、農地及び伝統文化を守りながら、次世代にバトンを繋げていく活動に励みたい。	奥越部区 吉田 秀司	49世帯	区内耕作放棄地の開墾及び再活用に従事してくれている。農業従事者の高齢者に対し、手伝い等サポートしてくれている。	無	
3	吉尾 周造	農業	69	男	昭和55年4月～平成28年3月 奈良県職員 平成28年4月～令和3年10月 日本ERI(株) 過去に上比曽区評議員を6年間務める。 令和5年～ 農業委員を務める。	耕作面積 41 アール 生産作物 水稲・露地野菜 (ジャガイモ、大根、白菜等)	該当	自ら農業を行い地域農業者に農業全般にわたる問題を自主的また大淀町農業委員会との連携によって解決して行くことを目的としているため。	地域内の遊休農地、荒廃地が広がっている現状を少しでも減らすことに努め、担い手農家の方に利用していただけるような施策を考えていきたい。	上比曽区 岩本 佳明	61世帯 144人	これまで地方公務員として長年に渡り功績を上げられてきた。退職後、地域の役員を務められより信頼を寄せられている。 自ら営農を行い、今後の地域農業の発展に向けての活動に意欲を持っている事から、農業委員として強く推薦します。	無	○
4	梅谷 芳廣	農業	74	男	平成20年7月～平成23年7月 大淀町農業委員会委員 平成24年3月31日 奈良県農業協同組合退職 平成25年1月～現在 芦原区会計 平成26年4月～現在 芦原生産組合長 平成26年7月～現在 大淀町農業委員会委員	耕地面積 70 アール 生産作物 水稲・露地野菜・施設野菜(ほうれん草、小松菜)	該当	住んでいる地区は、高齢化や後継者不足・耕作放棄地が増加し、耕作放棄地への不法投棄などが発生し農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあるので、農地の保全と効率的な農地の利用が必要と考えこれらの課題解決に努力したい。	農業にとって重要な農業委員会を通して、法令に従い農地の適正な運用・担い手への集約などにより農地を守るよう自身の培ってきた経験を活かし地域農業の活性化に尽力をしたい。	北郷地区 生産組合 迎居 茂實	174名	・これまでの経歴や地区の役員・生産組合長を務めており地域から信頼を寄せられている。 ・自ら営農を行い地域農業や農家の情報に精通しており、農業委員会業務に貢献することが期待できる。	無	○
5	柳谷 千秋	無職	77	男	平成14年9月 陸上自衛隊停年退庁 平成21年4月～平成23年3月 西増区長 平成22年12月～平成28年11月 民生委員 令和5年7月～ 農業委員	耕地面積 30 アール 生産作物 水稲 (キヌヒカリ)	非該当	他に農業委員となるべく候補者が該当せず、引き続き農業委員として職務を遂行するよう要請された為。	農業に関する識見の一層の向上を図り西増区内農地の利用適正化に貢献したいと考えます。	西増区 大谷 敏弘	67世帯 150人	既に令和5年7月より農業委員として活動しており、引き続き委員の任に準ずる事が適当と判断される為。	無	
6	田畑 豊喜	農業	73	男	昭和46年4月～平成24年3月 大阪市役所 平成24年4月～平成26年12月 大阪市博物館協会大阪文化財研究所 平成26年4月～平成30年3月 車坂区自治会区長 平成28年4月～ 城南生産組合長 平成29年7月～ 大淀町農業委員会委員 平成30年4月～ 車坂区自治会相談役 令和2年1月～令和3年12月 大淀町果樹組合会計	耕作面積 33 アール 生産作物 果樹(梨)	該当	農業委員会の業務を通じ、多くの農業関係者との関りを深め、農地の耕作放棄の防止、新規参入の促進、鳥獣対策など中山間地農業の振興に貢献したいと思っています。	農業委員会と事務局で連携し、毎年実施している、農地パトロールの結果やアンケート調査等により今後の農地利用の意向把握を行い、遊休地を含めた農地の地域計画に役立てると共に多様な担い手を確保するため、情報収集・発信を行い耕作放棄地の防止に努める。	車坂区自治会 西本義則	199世帯	大阪市役所を退職後、大淀町特産品である梨栽培を継承し、手伝いも含め50数年携わり、梨栽培及び販売に成果を収めている。 現在、農業委員、生産組合長及び車坂区役員を長年務め地域住民に信頼されている。 耕作放棄地の解消活動、新規参入の促進等、農業委員会業務に貢献できると考え推薦いたします。	無	○
7	中殿 寛	農業	74	男	平成23年3月 果樹栽培(梨)を引き継ぐ 平成26～29年度 薬水生産組合長 薬水農業共済組合長 平成30年～令和元年 大淀町果樹組合長 令和5年7月～ 大淀町農業委員会委員	耕作面積 50 アール 生産作物 果樹(梨)	該当	環境問題や開発問題が複雑化する中において、農業委員会の役割、活動について理解を深めたいと思い推薦を受けました。	年々異常気象、鳥獣被害等取り巻く環境が大変厳しくなる農業において、現状を把握し対策の問題点、課題を考えたいと思う。	薬水区 区長 米田一彦	126世帯 275人	地元で農業に長く従事され、地域の農業に深い造詣があり、直面する諸問題に真摯に向き合い前向きに対応される姿や、何にも増して農業にかける情熱を鑑みて、農業委員会委員という重要な役職に適任であると考えます。	無	○
8	中浦 宏子	無職	77	女	昭和52年 大淀町立大淀病院勤務 平成21年 大淀町教育委員会文化課 退職 平成21年 介護支援員資格習得 平成25年～令和6年 民生委員、生活支援員 令和5年7月 大淀町農業委員会委員	耕地面積 アール	非該当	数十年前は田畑であったこの区内も、今では90軒余りの区となり住居が多くなったが、反面宅地の間に遊休地があり、猪や鹿等有害動物が増え困っている事を区や町に伝えて欲しいと住民の方に頼まれたため。	農業委員として中立の立場で住民の声を伝え、又台風の時には大きな丸の本池の増水で周辺の方が困っている事を知っていただき、私なりに何か協力できればと考えております。	金吾町区区長 大西 忠則	94世帯 238人	民生委員として長年尽力され、地域のことよく知っておられ、行政の女性参画として中浦さんの行動力とネットワーク等で、女性リーダーとして力を十二分に発揮されることと思います。	無	○

大淀町農業委員会委員の推薦及び応募の状況

推薦の状況

(届出順)

番号	被推薦者(推薦を受けた者)							推薦者(推薦をする者)				認定農業者等に該当	利害関係を有しない			
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者等の区分	推薦を受ける理由	農業委員となった場合に 取り組もうとする事項	氏名又は名称			構成員数	推薦理由	推薦委員の推薦の有無
9	山口 隆弘	農業	73	男	平成15年～17年 大淀町消防団第八分団長 平成19年～22年 大淀町消防委員 令和2年～3年 佐名伝自治会会長 令和8年 佐名伝御霊神社護持会総代長 さなて村づくりの会代表 23年目	耕地面積	200	アール	該当	佐名伝自治会長の推薦を受け、50数年農業をしていて、もっと大淀町・地域に役立てたらと思う。	地域の遊休農地解消の為、農地の賃借や耕作放棄地解消両立し、環境・景観を良くしていきたい。	佐名伝自治会 自治会長 新子和久	90世帯	山口隆弘氏は梨・柿・ブドウなどの果樹を栽培し、長年にわたり農業に従事し、地域の農業の発展に貢献し、また農作物の栽培の研究にも熱心である。また、地域においては大淀町消防団第8分団長、大淀町消防委員、また佐名伝自治会の会長などを歴任し、地域社会の発展に寄与されており、農業委員としての資質を十分に兼ね備えた人物である。	無	○
						生産作物	果樹 (梨、柿、ブドウ)									
10	森本 昭博	農業	68	男	昭和55年 関西大学卒業 昭和56年より小学校教員につく 平成30年 明日香村立聖徳中学校校長退職後、私学聖心学園中等学校教頭に再就職 令和6年3月退職後、現在農業に従事している。 令和5年4月より岩壺区副区長就任	耕地面積	20	アール	該当	地域の里山の原風景を守るべく、遊休農地に対して取り組み、持続可能な農業を次世代へ引き継ぐことを行う。	・地域の農業者の意見を取りまとめ、具体的な意見を提出 ・新しく農業を始めたい人が農地を確保できるよう相談対応や情報提供を行う。	植田 善彦 前田 康子 大西 雅之	3名	職歴・実績などから、地域の信任を得ている。そして、地域の農業や農家情報にも精通しており、担い手への農地集積や遊休農地の未然防止・解消等、農業委員会業務に貢献できる。	無	○
						生産作物	水稻・露地野菜 (米、サツマイモ、大根、その他)									

大淀町農業委員会委員の推薦及び応募の状況

応募の状況

(届出順)

番号	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		応募者		応募理由	農業委員となった場合に取り組みようとする事項	推進委員の応募の有無	認定農業者等に該当	利害関係を有しない
						耕作面積	100 アール	認定農業者等の区分	該当					
1	小西 正久	農業	77	男	平成20年1月～28年3月 大岩区長 平成28年4月～31年3月 大岩自治会長 平成21年1月～令和7年12月 大淀町選挙管理委員 平成21年4月～ 就農「栽培収穫体験農園あぐりファーム大淀」を開園 平成21年、22年 奈良県農業大学校シニアファーマー養成講座(野菜、果樹)を受講 平成22年6月～令和4年3月 大岩農産物直売所運営委員会委員長、会計 平成26年1月～令和3年3月 大岩農業生産組合長、会計 平成28年4月～平成31年3月 大岩自治会長、監査 平成29年1月～ 大淀町地域遺産会議委員長 平成29年7月～令和2年6月 大淀町農業委員会農地利用最適化推進委員 平成30年4月～平成31年3月 大淀道の駅農産物直売所出荷者組合組合長 平成30年5月～ 「チャレンジ体験農業塾」を開設 令和元年4月～ 「農福連携」の農園経営を始める。福祉法人美吉野園の障害者支援施設利用者の農作業を指導。 令和2年7月～ 大淀町農業委員会委員 令和3年6月～ NPO法人おおいわ結の里理事長 令和7年12月～ 第5次大淀町総合計画策定審議会委員	耕作面積	100 アール	認定農業者等の区分	該当	大淀町農業委員会農地利用最適化推進委員(1期)や農業委員(2期)を務める中で得た知見を生かし、農業委員としての職務を遂行するとともに、大淀町の特性を生かした農業振興のための施策を提案できるようにしたいと思い応募を決意した。	担い手への農地集積化、耕作放棄地(荒廃農地)の発生防止・解消、新規就農者の支援等、農業委員としての業務を通じて、大淀町の農業振興に努めていきたい。特に、福祉事業関係との連携、都市住民を対象とした農業体験やイベントを通じて、農産物の生産振興、食育の推進等、大淀町らしい農業の推進に寄与したい。	無	○	
2	北澤 晨宏	登記事務所経営	79	男	昭和43年3月 同志社大学法学部法律学科 卒業 平成 8年 ㈱淀川製鋼所(東証上場 現㈱ヨドコウ)中途退社 平成 6年以降 北澤総合登記事務所、北澤建築設計事務所を開設 現在に至る	耕作面積	95 アール	認定農業者等の区分	非該当	大淀町の農地集積率が1割強で、県下の平均2割強よりもまだ低い状況が続いており、5年後の目標3割としているも絵空事である。新規参入促進を基盤としているが、そもそも現行の山間部零細農家の底上げ自体が、営農経営が定着する余地が少ない。山間小規模スマート農業を推進し、市井の企業経営と同様な近代的営農計画を行政手法として推進していく必要がある。その為に農地法に基づく旧来の行政事務執行だけではなく、隣接市町村の農業委員会と一体となって共に営農推進が積極的に可能となる農業委員会にする必要がある。農地の荒廃化を危惧する事と、企業経営営農の推進が必要との考えからの応募である。	30年程前に米国加州で営農状況の視察一団に加わった際、蔬菜農場、養牛場等で米国農業の近代化方式を見分した。その際に既にレーザー光による農地の整地等を始め、各種先端農業技術の存在を知った。現日本においてやっとGPS、AI技術によるスマート農業が促進されているが、情報の遅れや投資コストの観点から大淀町の農家の大半はそれらの機器使用技術を持たない状況である。これでは集積率はなお悪化するの必須である。そこで今後何十年要するか想像できないが、従来の待つばかりの営農計画でなく、将来的に地区における複数の集積高収益営農農家(専用営農企業)による植物実証企業の企画立案が隣地他市町村と連携して可能となれば、人口定着化や安全な地域内農産品での食料自給率増加を期待できる。既に某繊維関連企業が、私の所有農地(約10a)を利用し素人農家企業として模索しており、私はそれを行政的手続きで手助けしている現状である。このように個人では投資困難な実験に取り組んだり、誘致する試みをしたりした行政的手続きの側面援助となる様な企画立案を広範囲で取り組みたい。	無		
3	山下 朱美	農業	48	女	平成15年～18年 映画祭の運営・実行委員として従事 平成19年～21年 オーストラリアへワーキングホリデー。2年間を通して、様々な農園で仕事を体験 平成25年～27年 大阪から大淀町へ移住「こあらベーカリー」を開業 主人のアレルギー発症により休業 平成27年～30年 吉野コスモス会にて勤務 平成30年 「こあらふあーむ」開業	耕作面積	130 アール	認定農業者等の区分	該当	大阪から大淀町へ移住して13年、夫と共に農業を始めて8年になります。耕作放棄地を少しずつ開拓しながら農地を広げてきましたが、当初は農地を借りることに大きな苦労がありました。現在、農業委員として経験させて頂いてる中で、農地の課題や地域の課題を深く知り、地域農業の持続と活性化に貢献したいと考え応募いたしました。	耕作放棄地を開拓して農業を続けてきました。農地を借りる際に苦労した経験から、農地を探す人と貸したい人のマッチングを強化する仕組みづくりに取り組みたい。又、今後増えると予想される離農農地について、荒れる前に次の担い手へつなぐ活動を進め、地域の農地が持続的に活用される環境づくりに貢献したいと考えています。	無	○	
4	兼古 佑佳	看護師	38	女	2022年1月1日から医療法人弘仁会南和病院勤務 看護師 2020年度から おおいわ農と食を楽しむ農業塾を受講し、現在に至る。	耕作面積	アール	認定農業者等の区分	非該当	このたびお声がけをいただき、農業委員会の活動について知る機会を得ました。私は生まれも育ちも大阪で、結婚を機に大淀町に移り住みました。これまで、農業は未経験でしたが、農作物を作ることに興味がありました。2020年度より、おおいわ農と食を楽しむ農業塾に参加し、ご指導のもと栽培や収穫を経験しました。様々な課題がある中で、少しでも地域のお役に立てればと考え、応募いたしました。	農業委員に選任していただけたら、まず農業委員会の役割や地域の状況を学ぶことから始めたいと考えています。その上で、農地の見守りや話し合いを通じて、地域のお役に立ちたいと思っています。私は、関係する方々と協力しながら農地が適切に管理され、農業が続いていくことが大切だと考えています。大淀町の豊かな里山を継承していくためにも、地域農業の維持に微力ながら尽力したいです。	無		○
5	梅谷 和平	無職	67	男	昭和57年3月 近畿大学理工学部建築学科 卒業 同上 4月 ㈱井上組 入社 昭和61年4月 ㈱堀内工務店 入社 平成15年8月 堀内工務店 倒産の為退社 平成17年10月 ㈱森精機 契約社員 ㈱ハウス食品 契約社員 令和3年 8月 同上 退職	耕作面積	30 アール	認定農業者等の区分	非該当	大淀町での現状での、農地の利用状況の確認と問題点を、自分なりに考えてみたいからです。	天候不順や人口減少により、荒地の増加、水路の未整備による水害が考えられる中で、地域の為に出来るだけ、農業の法律の中で提案できるよう、活動していきたい。	無		